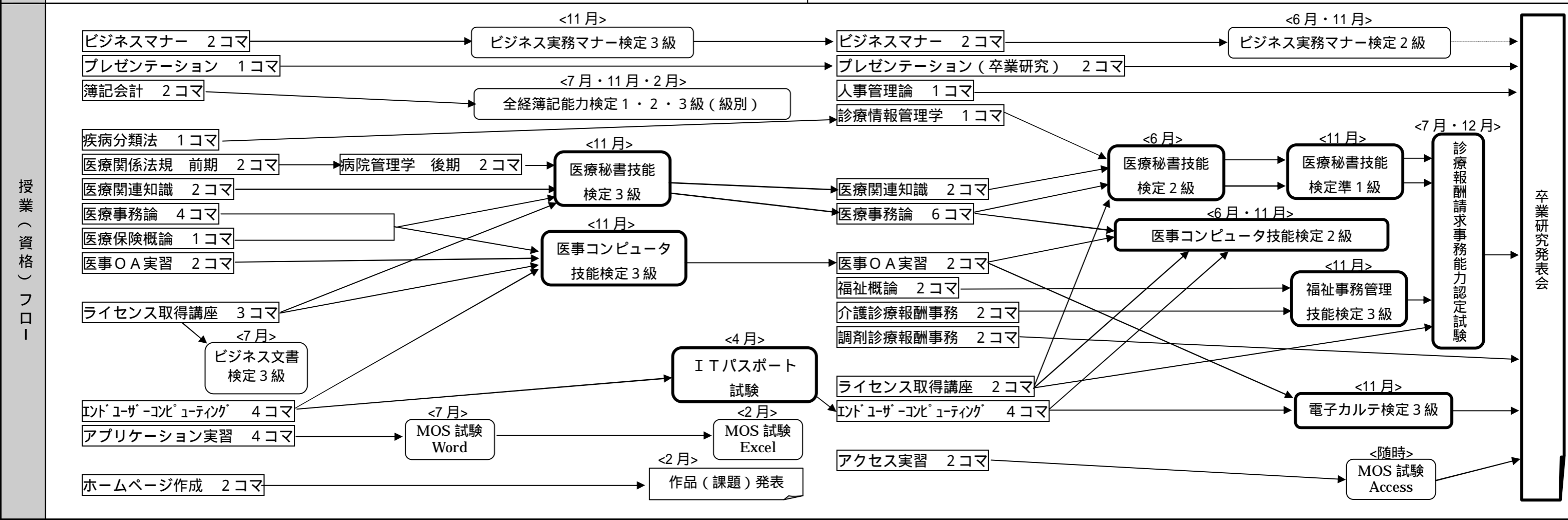


# グランドシラバス

医療情報管理科（2年課程） H21年度入学生

最終目標	基礎医療知識から組織として病院を管理する知識、コンピュータを使い医療情報の管理や分析について学習し、病院の総務や医事課スタッフ、診療情報の管理者、コンピュータシステム管理者など病院の基幹となる部門のスタッフを育成する。コンピュータをツールとして使いこなす技術と知識を習得するし一般企業の事務系に必要なスキルを身につける。また、卒業と同時に「専門士」の称号を獲得する。	
	1年次	2年次
	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療事務に関する技術・知識を基礎から学習し、医療事務員に最低限求められるレベル（外来部門におけるレセプト作成）である医療秘書技能検定3級および医事コンピュータ検定3級の合格を目指す。</li> <li>アプリケーションソフトの利用を通じて、コンピュータを使いこなすための技術・知識を習得するとともに、技術レベルの証明として、Microsoft Office Specialist 試験の合格を目指す。</li> <li>ITに関する知識を証明するための国家試験であるITパスポート試験の合格を目指す。</li> <li>社会人に要求される簿記、ビジネス文書、ビジネスマナーなどの基礎を学ぶ。</li> <li>コミュニケーション能力を高めるためビジネスマナー、プレゼンテーションなどの授業を通じて、自己表現力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次に学習した医療事務に関する技術・知識のレベルアップをはかり、医療機関（入院部門を含む）で求められるレベルの技術知識を身につけ、診療報酬請求事務認定試験、医療秘書技能検定準1級・2級、医事コンピュータ検定2級、電子カルテ検定3級の合格を目指す。</li> <li>高齢化社会への対応を考慮し、福祉事務についても事務レベルの知識を身につける。</li> <li>データベースの技術・知識を習得し、Microsoft Office Specialist Accessの合格を目指す。</li> <li>社会人として求められるマナーを実践できるようにする。</li> <li>卒業研究により本学科で学習した内容についてより深く研究し理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を、発表のレベルまで高める。</li> </ul>



メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬請求事務能力認定試験：保険請求のための診療報酬明細書（レセプト）の作成能力・知識を問う試験。医療事務員にはもちろんのこと、医療事務・医事コンピュータのインストラクターには必須の資格です。</li> <li>医療秘書技能検定：3級が外来部門レベル。2級が入院部門までを含んだレベル。医療機関で「医療事務の資格取得者」といったら、最低3級は取得しておくべきです。入院のある病院では、2級以上が必要です。</li> <li>医事コンピュータ技能検定：ほとんどの医療機関で、レセプト作成にはコンピュータが使用されています。この検定取得により、実際に医事コンピュータが使えることの証明となります。</li> <li>ITパスポート：ITに関する知識を証明する国家試験。情報化がすすむ医療機関でも、ITに強い人材が求められています。</li> </ul>
------	--